



平成25年 5 月16日

各 位

会 社 名 JALCO ホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役社長 田辺 順一

(J A S D A Q ・ コード 6625)

問合せ先

役 職・氏 名 取締役管理本部長 大浦 隆文

電 話 050-5536-9824

営業外費用、特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）決算において、営業外費用、特別損失を計上するとともに、平成 24 年 9 月 14 日及び平成 24 年 11 月 9 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期の連結・個別業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用、特別損失の発生について

（1）新株式発行費用（営業外費用 個別、連結）

当社は、平成 25 年 2 月に第三者割当による新株式発行を行いました。これに伴い、臨時株主総会開催費用、第三者委員会意見入手費用、及び登記費用などの新株式発行費用 13 百万円を営業外費用として、個別決算及び連結決算において計上する見込みとなりました。

（2）固定資産修繕費用（特別損失 連結）

当社の連結子会社である PT. JALCO ELECTRONICS INDONESIA（以下、「JI」といいます。）において屋根の修繕費用 12 百万円が発生しました。JI の土地（地上建設権）・建物については平成 24 年 5 月に譲渡先が決定しており、同年 9 月には生産活動を終了していることから、当該固定資産修繕費用 12 百万円を特別損失として、連結決算において計上する見込みとなりました。

（3）固定資産減損損失（特別損失 連結）

当社の連結子会社である株式会社ジャルコ（以下、「ジャルコ」といいます。）が保有する工具（金型）3 百万円について、予定していた第三者への譲渡が取り止めとなったことに伴い、他への売却可能性を検討した結果、売却は困難という判断に至りましたので、固定資産減損損失 3 百万円を特別損失として、連結決算において計上する見込みとなりました。

※上記のとおり、JI が保有する土地（地上建設権）・建物につきましては、平成 24 年 5 月に譲渡先を決定して以来、現地において引き渡し手続きを進めており、インドネシア国に対する保税ライセンスの返還手続等により時間を要しておりますが、次期（平成 26 年 3 月期）において譲渡を完了する見通しであります。当連結会計年度におきましては、上記特別損失を含めて当該譲渡関連の特別損失 81 百万円を先行して計上する見込みですが、次期におきましては、譲渡価額 3 億 50 百万円から土地（地上建設権）・建物の帳簿価額 83 百万円を差し引いた 2 億 67 百万円を特別利益として、当該譲渡にかかる税金費用、その他諸費用を特別損失として、各々計上する見込みであります。

2. 連結業績予想の修正及び修正理由

平成 25 年 3 月期通期連結（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	4,300	40	△45	△140	△13 円 76 銭
今回修正予想（B）	3,351	△26	△89	△219	△16 円 96 銭
増減額（B－A）	△949	△66	△44	△79	－
増減率（％）	△22.1	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成 24 年 3 月期）	1,890	△534	△571	△686	△91 円 22 銭

連結売上高は、前回予想を 9 億 49 百万円下回り 33 億 51 百万円となる見込みです。これは、遊技機レンタル・割賦販売事業において、期中における資金投下の時期が遅れたこと、及び投下した資金についてレンタル用中古遊技機の取得を優先させたことにより、中古遊技機販売売上に影響が及んだことから、遊技機レンタル・割賦販売事業の売上高が前回予想を 7 億 11 百万円下回り 28 億 58 百万円となる見込みであることに加えて、電子機器用部品事業において、予定していたパチンコホール向けの設備販売案件について、採算性を最優先して総合的に取引条件の検討を進めた結果、当連結会計年度における売上実現には至らなかったことから、電子機器用部品事業の売上高が前回予想を 2 億 38 百万円下回り 4 億 92 百万円となる見込みとなったことなどによるものであります。

連結営業損失は、当初予想を 66 百万円下回り 26 百万円、連結経常損失は、当初予想を 44 百万円下回り 89 百万円となる見込みです。これは主に、売上高の下ぶれによるものであります。

連結当期純損失は、当初予想を 79 百万円下回り 2 億 19 百万円となる見込みです。これは主に、経常損益の下ぶれに加えて、「1. 営業外費用、特別損失の発生について」のとおり、JI における固定資産修繕費用 12 百万円、ジャルコにおける固定資産減損損失 3 百万円を各々特別損失として計上したこと、及び遊技機レンタル・割賦販売事業が好調に推移したことに伴い JAS における税金費用 34 百万円を計上したことなどによるものであります。

3. 個別業績予想の修正及び修正理由

平成 24 年 3 月期通期個別（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	168	5	3	6	0 円 59 銭
今回修正予想（B）	168	11	△2	△0	△0 円 02 銭
増減額（B－A）	0	6	△5	△6	
増減率（％）	0.0	22.0	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成 24 年 3 月期） （平成 23 年 10 月 3 日 ～平成 24 年 3 月 31 日）	67	△4	△3	△11	△1 円 47 銭

個別売上高は、前回予想のとおり 1 億 68 百万円となる見込みです。

個別営業利益は、前回予想を 6 百万円上回り 11 百万円となる見込みです。これは主に、賃貸用不動産にかかる固定資産税について、販管費ではなく営業外費用にて計上したことによるものであります。

個別経常損失は、当初予想を 5 百万円下回り 2 百万円、個別当期純損失は、当初予想を 6 百万円下回り 0 百万円となる見込みです。これは主に、「1. 営業外費用、特別損失の発生について」のとおり、新株式の発行において発生した費用を営業外費用にて計上したことなどによるものであります。

（注）当社は、平成 23 年 10 月 3 日に単独株式移転によりジャルコの完全親会社として設立されました。

従いまして、当社の第 1 期事業年度は平成 23 年 10 月 3 日から平成 24 年 3 月 31 日までとなります。

しかしながら、連結計算書類は、ジャルコの連結計算書類を引き継いで作成しておりますので、連結

計算書類における第1期連結会計年度は、平成23年4月1日から平成24年3月31日までとなります。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表時現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので予めご理解ください。

以 上